

第 88 回日本学生選手権水泳競技大会 監督者会議

期 日：平成 24 年 9 月 6 日(木)

時 間：15:00～

会 場：辰巳国際水泳場内 会議室

(1) 挨拶

大会会長挨拶	(公財)日本水泳連盟	会 長	佐野 和夫
歓迎の挨拶	(一財)東京都水泳協会	会 長	濱出 雄三
挨拶	(公財)日本水泳連盟	学生委員会委員長	林 敏久
主管支部挨拶	(公財)日本水泳連盟	学生委員会関東支部支部長	松本 高明

(2) 競技概要および諸注意

ドーピングコントロールについて	J A D A	奥田 鉄人
審判長注意	(公財)日本水泳連盟	藤森 克悦
諸注意	(公財)日本水泳連盟	三友 礼人
エコ活動について	(公財)日本水泳連盟	原田 由梨
その他		

(3) 質疑応答

(4) その他

F I N A 競泳ワールドカップ東京 2 0 1 2 について

セントラルスポーツカップ 2 0 1 2 ・東京マラソンスイミングについて

競技について

- (1) 本競技会は2012年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) タイムスケジュール通りに行う。
- (3) 自由形の女子800m・男子1500mは予選・決勝、それ以外の種目は予選・B決勝・決勝を行う。
- (4) B決勝・決勝進出において、同記録で定員より増加した場合はスイムオフを行う。(自由形の800m・1500mについては抽選を行う) 各種目、決勝・B決勝の補欠は3名までとする。ただし、800m・1500mについては2名までとする。
- (5) 招集は、競技開始20分前より行う。本人の確認のため招集所には、ADカードを必ず持参すること。招集所で水着の確認を行う。
- (6) 予選競技を棄権する場合には届出用紙に記入し、8時40分までに招集所に届け出ること。尚、指定時間以降の棄権については棄権料3,000円、無断棄権についてはさらに罰金3,000円を徴収する。
B決勝・決勝競技を棄権することはできない。やむなく棄権する場合には、その予選種目終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えて招集所に届け出ること。棄権届出後、大会総務により棄権の受理及び繰り上げ選手の決定を行う。
- (7) リレーの引継ぎはPT8000によって判定する。
- (8) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (9) 800m・1500m自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
- (10) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは水中バックアップシステムを使用する。
- (11) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (12) 競技成立後は、折返し監察員の指示によりプール横から退水すること。
- (13) リレー種目は、予選・決勝競技ともに自コースから退水すること。
- (14) 決勝競技のコース紹介時には、自分の紹介が終わるまではビブスを着用すること。
- (15) 水着の重ね着・二次加工、及びテーピング類は禁止する。
- (16) リレーオーダー用紙の提出締切時間

	予選競技	決勝競技
9月7日(金)	8時40分	15時15分
9月8日(土)		16時00分
9月9日(日)		14時30分

プールの使用について

日 時	事 項	開門時間	予選		決勝		閉門時間
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	
9月6日(木)	公式練習日	11:00	練習時間11:00～18:00				18:30
9月7日(金)	1日目	7:00	9:15	13:40	15:00	18:20	18:50
9月8日(土)	2日目	7:00	9:00	13:40	16:00	18:15	18:45
9月9日(日)	3日目	7:00	9:00	13:20	14:30	18:30	19:15

9月7日(金) 開会式(9:00～)・開始式(15:00～)

9月9日(日) 閉会式(競技終了後直ちに)

(1) メインプール

水温は27.5、水深は2.0mに設定する。

バックプレート付きスタート台を使用する。

練習は競技開始15分前までとする。

昼休みの練習について、1日目は開始式開始15分前まで、2・3日目は決勝競技開始15分前までとし、当日のB決勝・決勝出場者のみ利用できる。

1コース・10コースは、ダッシュコースとする。また、2コースはペースコースとする。

10コースはスタート側から、1コースは折り返し側からの一方通行とする。

ダッシュコースの代理人による順番待ちは禁止とする。

(2) サブプール

水温は27.5 とする。

表彰について

- (1) 個人種目（リレー競技を含む）の1位～3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。
4位～8位に賞状を授与する。
- (2) 選手権獲得校には、優勝杯ならびに賞状を、2位から8位までは賞状を授与する。
- (3) 賞状の受け取りと記録証の発行は1階・選手受付で行う。
記録証発行時間：（予選競技）予選競技開始～予選終了後1時間
（決勝競技）決勝競技開始～決勝終了後30分
- (4) 表彰の際の小旗・部旗の持ち込みを禁止する。

館の使用について

- (1) 本大会は有料入場のため、選手・選手付添の入退場については、すべて1階入口ゲートとする。
- (2) 場所取り入場は7:00より2階入口で行う。入場順について、シード校は昨年の成績順、団体出場校は今年度各支部選手権の成績順、個人出場校は参加人数順とする。
入場順：シード校 各支部団体出場校 個人出場校
- (3) 場所取りは役員の指示に従い、禁止の場所は取らないこと。
- (4) 選手席・付添席は、プールサイド席をシード校、スタンド席を団体出場校、個人出場校に割り当てる。
- (5) ダイビングプール・プールサイドをシード校選手控えスペースとする。
- (6) 割振りは参加人数を考慮して主催者側で行い、支部内の割振りは大学間で行う。
- (7) 選手・付添エリアには、一般は入ることは出来ない。
- (8) 選手票・付添票は、本大会専用のADカードを使用する。ADカードは、館内にいる時は常時首から提げて掲示していること。また、入退場に際しては、必ず選手票・付添票を提示して係員の指示に従うこと。貸し借りは厳禁とする。
- (11) 更衣室の使用について、
ロッカーは必ず鍵をかけて使用すること。控え場所としての使用および飲食は禁止とする。
ロッカーキーを紛失した場合は、5,000円を徴収する。

その他

- (1) TV放映(予定)について、
TV朝日『GET SPORTS』にて放送予定。
- (2) ドリンクコーナーにて、ウォーターサーバーを設置する。
- (3) B決勝・決勝のスタートリストを、2階プログラム販売所にて1枚100円で販売する。
- (4) 競技結果を、SEIKOホームページ(<http://swim.seiko.co.jp>)に即時配信する。
- (5) プログラムは2,000円で販売する。
- (6) マネージャーミーティングを毎日8:00(受付7:45)より会場内会議室にて行なう。
- (7) 決勝競技終了後、すべての選手権獲得者には、フラッシュインタビューを実施する。
- (8) すべての競技者は競技終了後、予選・B決勝・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (9) ドーピングコントロールを実施する。
- (10) 付添票を保持する者は、会場内・アリーナ内では必ず該当大学のユニフォームを着用すること。
高校名・スイミング名等の入ったものの使用は固く禁ずる。本連盟から支給された『JAPAN』の文字が入った水着の着用は本人のみ可とする。
- (11) 本大会は有料入場のため、チケットを持たない者は入場できない。2階客席入口での保護者、OB・OGの対応は各大学が責任を持って行うこと。
- (12) 本大会公式ホームページ(<http://www.swim-g.net/intercollege/ic2012/index.html>)